



【教育目標】健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成



令和4年度
学校だより
第12号

豊かつ子

喜多方市立豊川小学校
令和4年9月27日(火)
発行責任者
校長 佐々木 豊

◎(心も体も)つよい子 ◎(自然と友達に)やさしい子 ◎(真剣に)まなぶ子

スポーツの秋 体を鍛えよう ~ (心も体も)つよい子を目指して~

11月1日(火)の校内マラソン記録会に向け、本日より朝のマラソンがスタートしました。登校した子ども達から、次々と校庭に飛び出し、自分の目標の周数を走っています。

子ども時代(成長期)に体を鍛えることはとても大事なことです。病気にかかりにくい体をつくり、やり遂げる体力をつけることは、きっと大人になってからも自分の夢をかなえる助けとなることでしょう。



しかし、残念ながら昔に比べ現代の子ども達は体力が落ちています。正確には、体力がある子と体力がない子の二極化が起きています。体力のある子は、外遊びやお手伝いを行い、スポーツやスイミングなど運動の機会が多い子ども達です。体力がない子は、休み時間も教室で過ごし、家に帰っても外遊びやお手伝いなど体を動かすことをせず部屋にこもって過ごすなど運動の機会が少ない子ども達です。

先日、6月に実施した新体力テストの結果が届きました。残念ながら本校の結果は、いくつかの学年が全国平均に届いていないという結果でした。特に20mシャトルラン(往復持久走)や50m走、ソフトボール投げの結果がよくありませんでした。現在豊川小では、体育の授業で走る運動や投げる運動を意図的に取り入れ、体の動かし方や運動のコツをきちんと指導すること、休み時間は子ども達に外遊びを呼びかけることを進めています。朝のマラソンの取り組みも、子ども達の体力向上に少しでもつながればと期待しています。

ぜひご家庭でもお子さんに外遊びを呼びかけ、部屋にこもりきりにならないよう働きかけていただければと思います。スポーツの秋ですので、これを機会に、家族でジョギングやウォーキング、キャッチボールやバトミントンなど、運動に取り組んでみてはいかがですか。

新体力テストの個人カード

本日、新体力テストの個人カードを配付しました。お子さんの結果と判定、アドバイスが記されていますので、ぜひご覧ください(裏面にはトレーニング例も載っています)。お子さんと一緒に運動の取り組みについて話し合う機会になればと思います。



福島県は不健康県？ ー まずは現状の正しい把握を ー

先日新聞の社説※に「県民の健康指標」の記事が載っていました。福島県は健康に関する多くの指標で全国下位にあるが、県が昨年1万人を対象に実施した調査では、76%が自分のことを「健康」と回答しているそうです。認識にずれがあるため、食事や運動などの取り組みが進んでいないそうです。社説には「自分の体の状態をしっかり把握し、改善に向けた具体的な行動を実践していくことが大切」と書かれていました。保護者の皆様はご自分の体の状態を正しく把握していますか？ お子様の体の状態を正しく把握していますか？ まずは現状の正しい把握が大事ですね。 ※ 福島民友 2022年9月23日

読書の秋 本を読もう～（真剣に）まなぶ子は読書好き～

「子どもの学力を高める一番の近道は読書である」とよく言われます。これは「読書習慣のある生徒は、ない生徒よりも読解力の平均点が高い」という調査結果もあるので納得です（PISA国際学習到達度調査）。ちょっと耳が痛いのが「親がよく本を読む家の子どもは、児童書や絵本などをたくさん読んでいる」という調査結果です（厚生労働省調査）。母親と父親が読む本の冊数が多いほど、子どもが読む本の冊数も多くなっているそうです。

豊川小学校では、読書好きな子どもを育てるため、いろいろな取り組みを行っています。図書ボランティアの方の読み聞かせ、お昼の放送での本の紹介、図書の掲示…。残念なのは、学校ではよく本を読む子ども達も、家では本よりYoutubeやテレビゲームになってしまっていることが多いことです。読書の秋を機会に、親子で読書をしてみてはいかがですか。



図書ボランティアの方の読み聞かせ



階段の図書の掲示



読書感想文とその本（4年生）

ちょっといい話

先日1階男子トイレの戸を開けると、1年生男子2人がしゃがみ込んでいました。何をしているのかと見ると、2人でトイレのスリッパをそろえていました。それも自分のはいたスリッパだけでなく、すべてのスリッパをきちんとそろえていました。すばらしいですね。後から使う人を思いやる気づかいに、さわやかな気持ちになりました。



「はきものをそろえると 心もそろう」